

## 全国訪問教育研究会

# 第35回全国大会（近畿）開催要項

2022年4月20日

※Zoomを使用し、オンラインでの開催になります。

### ■実行委員長挨拶■

第35回近畿大会の実行委員長を務めさせていただき、和歌山つくし医療・福祉センター センター長・院長の飯塚忠史と申します。小児科医です。私と在宅障がい児者のつながりは44年前に大学附属病院分院へ転勤して、初めて地域医療を経験した時からです。当時彼らは社会からの支援も少なく、社会の片隅でひっそりと一生懸命生活している印象でした。特に学校卒業後はわずかに医療とつながっているだけで、助けを求めることも出来ませんでした。その頃と比べると現在は支援もいくらか増え、以前と格段の差があります。昨年6月に成立し、9月に施行された医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律で、在宅小児障がい児を取り巻く環境に少し変化が生じているようです。新しく全国規模の家族会も出来ています。しかし最近の新型コロナウイルス感染症パンデミック下では再び家庭に引きこもらざるを得ない障がい児者も多く、彼らの孤独は根本的には変わっていないのではないかと考えています。彼らが本当に共生できる社会が出来ることを望んでいます。

さて私が日頃訪問教育の先生方とお会いするのは病棟内でのことが多いです。児のベットサイドにおられて児に寄り添いながら観察する、その力にはいつも驚かされます。医学的にバイタル(生命徴候：脈拍・呼吸等)をとるだけで判断すると、「遷延性意識障害」で何の反応もないように見える児でも、わずかな反応を見逃さない先生方にはいつも脱帽です。医師と教師との違いでしょうか。医療と教育の出会い「訪問」という場は職種間の連携を発展させる大きな芽となるでしょう。

障がい児者とその家族の立場に立ち、彼らに寄り添う訪問教育の先生方は、今も昔も孤独な彼らのとても頼りになる存在です。家族たちは、私たち医師の言葉よりも時として訪問の先生の言葉を信じます。それほど家族と強く結ばれた訪問の先生方をうらやましく感じます。第35回近畿大会が実りある大会になりますように。

全国訪問教育研究会第35回全国大会（近畿）実行委員長  
飯塚 忠史(和歌山つくし医療・福祉センター センター長・院長)

### ■大会テーマ■

「一人ひとりのいのちが輝く教育をめざして」

### ■開催日時■

2022年8月9日(火) 9:00～12:30 13:30～17:15

### ■主催■

全国訪問教育研究会

### ■後援■(申請中を含む)

文部科学省・厚生労働省  
全国特別支援教育推進連盟・全国特別支援学校肢体不自由教育校長会(※次頁に続く)  
全国特別支援学校知的障害教育校長会・全国特別支援学校病弱教育校長会  
社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会・全国訪問教育親の会・全国病弱教育研究会  
全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会・認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク  
独立行政法人国立特別支援教育総合研究所  
和歌山県教育委員会

■大会日程

<午前の部>

9:00～ 9:45 開会行事・基調報告

10:00～12:30 分科会

<午後の部>

13:30～14:00 訪問教育に関する第九次全国調査報告

14:10～16:10 シンポジウム

16:10～16:30 閉会行事

16:45～17:15 全訪研総会

■内容■

(1) 全体会（開会行事） 9:00～9:45

- ①開会挨拶 榎木 暢子（全国訪問教育研究会会長）
- ②実行委員長挨拶 飯塚 忠史（和歌山つくし医療・福祉センター センター長・院長）
- ③親の会より 福田 智佳子（全国訪問教育親の会）
- ③基調報告
- ④開催地からの報告 和歌山の訪問教育について、皆さんに紹介します。

(2) 分科会 10:00～12:30

	分科会名	分科会のねらい（◆共同研究者）
①	健康・身体づくり	障害が重く、日常的にさまざまな健康管理の必要な子どもに対するかかわりについて考えましょう。姿勢づくりや呼吸支援等、子どもの活動を引き出すために必要なことについて講義と実践を交えて交流しましょう。 ◆竹脇真悟（埼玉県立宮代特別支援学校）
②	コミュニケーション	重度・複障害児のコミュニケーションを育てるための支援や配慮について、訪問での教育実践について交流しましょう。それぞれの発達段階にある子どもを丁寧に観察、その主体的な反応を活用して主体的・対話的な学びを深める視点から、幅広く協議・討議をしましょう。重症児と言われる子どもたちは「反応がつかめない」「応答が乏しい」と言われがちですが、丁寧な関わりで意思表示や心の内面を捉えていく実践やその方法について話し合ひましょう。 ◆高木 尚（全国訪問教育研究会全国事務局）
③	授業づくり・教育課程Ⅰ	授業・教材づくり、複数訪問やスクーリング、行事への取り組みなど、日々の実践や悩みを交流しあひましょう。 教育課程の視点から、訪問学級の子どもたちにふさわしい学びと生活について討議しましょう。 よろしければ、教材もご紹介ください。 ◆木下博美（全国訪問教育研究会 元副会長）
④	授業づくり・教育課程Ⅱ	表出や表現を援助する手段として、ICT 機器等が活用されています。GIGA スクール構想の推進で配布されたタブレット端末等の活用を含めて、教材や授業づくりについて学び合ひましょう。 よろしければ、教材もご紹介ください。 ◆荻田知則（愛媛大学）

⑤	病院や施設における教育	<p>“生きる力を育む”いのちの輝く教育を求めて、病気療養児や施設入所児者の教育内容・方法や、院内学級・分教室・病院内施設内訪問教育の実践を深めていきましょう。</p> <p>◆西本幸弘（独立行政法人国立病院機構 和歌山病院）</p> <p>◆栗山宣夫（育英短期大学）</p>
⑥	教育と地域での生活支援 －医療・福祉・教育の連携	<p>子どもたちの学びと生活を豊かにするためには、「地域の中で生きる」視点での生活支援、卒業後の進路を見通した指導、アフターケア、社会参加など、地域支援のネットワークづくりが大切になっています。医療的ケアを必要とする障害の重い子どもたち、内部疾患のある子どもたちなど、様々な障害のある子どもたちの就学前から在学中、卒業後までの教育と地域での生活を考えていきましょう。</p> <p>◆下川和洋（全訪研全国事務局・NPO 法人地域ケアさぼーと研究所 理事）</p>

●分科会でのレポート発表を希望される方へ

次の①～④について、6月10日までにレポート担当宛に連絡をお願いします。

- ①分科会名・氏名・学校名または所属先名
- ②メールアドレス
- ③レポートタイトル
- ④レポート内容に関して、個人情報保護の配慮が必要かどうか

<p>&lt;レポート担当&gt; 全国訪問教育研究会 全国事務局 栗山 弘子 h-kuri@peach.ocn.ne.jp</p>
--

・発表されたレポートは、全訪研の研究集録「訪問教育研究 第35集」に掲載させていただく場合があります。原稿依頼を受けた際はよろしくをお願いします。

(3) 訪問教育に関する第九次全国調査報告 13:30～14:00

全国訪問教育研究会では4年に1度、訪問教育に関する全国調査を実施しています。今回は2021年に実施した第九次全国調査について報告します。

(4) シンポジウム 14:10～16:10

「訪問教育と医療的ケア～その歴史と課題～」

全国の状況を踏まえ、医療的ケアや訪問教育の課題等について考えていきたいと思ひます。

(5) 閉会行事 16:10～16:30

- ①実行委員長あいさつ
- ②全訪研会長からの謝辞
- ③大会宣言
- ④次期開催地から一言
- ⑤閉会あいさつ
- ⑥歌「小さな いのち」

## ■申込みについて■

○申込み期間 5月1日（日）～ 8月5日（金）

○参加費

会員：1500円（研究収録あり…研究収録の代金は年会費に含まれています。）

一般：2000円（研究収録なし）

一般：3400円（研究収録付き）

学生・保護者（家族）：1000円（研究収録なし）

学生・保護者（家族）：2400円（研究収録付き）

※上記の研究収録は「訪問教育研究第35集」です。今回の大会の内容や訪問教育に関する資料が掲載されており、2022年12月発行予定です。会員の方、研究収録を申し込まれた方に送付致します。

※参加費が振り込まれた時点で申込み受付となります。申込後、大会に参加できなくなった場合、参加費は返金できません。ご了承ください。

○申込方法 ①、②のどちらかの方法で申し込んでください。

今大会の申込はチケット販売サービス「Peatix」を使用します。

①下記のURLからPeatixのサイトを開き、「チケットを申し込む」からお申込みください。

<http://ptix.at/qdlcj8>

②全国訪問教育研究会ホームページから申し込む。

<http://zenhoken.com> から全訪研ホームページに入れます。

全訪研ホームページ→「全国大会」をクリック→「参加申込」のリンクをクリックすると、Peatixのチケット申込画面が表示されますので、「チケットを申し込む」からお申込み下さい。

※申し込まれた方にはPeatixから「チケットお申し込み詳細」のメールが届きます。スマホや携帯電話から申し込まれる方は、[tickets@peatix.com](mailto:tickets@peatix.com)からのメールを受け取れるようにしておいてください。Peatixからの「チケットお申し込み詳細」のメールが届かない場合には、下記の間合せ先までご連絡ください。

## ■資料の請求について■

大会記録がほしいという場合は、2022年12月に発行予定の「**訪問教育研究 第35集**」を送付致します。大会の内容や訪問教育に関する資料が掲載されています。代金は、送料込みで、1400円です。ご希望の方は、参加申し込みの際に「研究収録付チケット」をお申し込みください。

※全訪研会員の皆様へ・・・2023年2月に機関紙「こんにちは」と一緒に「訪問教育研究 第35集」を送付しますので、「研究収録付チケット」の申込みはしないでください。

## ■問い合わせ先■

<全訪研会長> 榎木 暢子 [kashiki.nagako.mc@ehime-u.ac.jp](mailto:kashiki.nagako.mc@ehime-u.ac.jp)

<全国事務局長> 長 正晴 [chou\\_masaharu@yahoo.co.jp](mailto:chou_masaharu@yahoo.co.jp)

○全訪研ホームページ <http://zenhoken.com>  
(こちらから開催要項のダウンロードができます。)